

6月27日
信仰の原点への復帰
創世記13章1～18節

13:1 それで、アブラムは、エジプトを出て、ネゲブに上った。彼と、妻のサライと、すべての所有物と、口もいっしょであった。13:2 アブラムは家畜と銀と金とに非常に富んでいた。13:3 彼はネゲブから旅を続けて、ベテルまで、すなわち、ベテルとアイの間で、初めに天幕を張った所まで来た。13:4 そこは彼が以前に築いた祭壇の場所である。その所でアブラムは、【主】の御名によって祈った。

13:5 アブラムといっしょに行ったロトもまた、羊の群れや牛の群れ、天幕を所有していた。

13:6 その地は彼らがいっしょに住むのに十分ではなかった。彼らの持ち物が多すぎたので、彼らがいっしょに住むことができなかったのである。

13:7 そのうえ、アブラムの家畜の牧者たちとロトの家畜の牧者たちとの間に、争いが起こった。またそのころ、その地にはカナン人とペリジ人が住んでいた。13:8 そこで、アブラムはロトに言った。

「どうか私とあなたとの間、また私の牧者たちとあなたの牧者たちとの間に、争いがないようにしてくれ。私たちは、親類同士なのだから。13:9 全地はあなたの前にあるではないか。私から別れてくれないか。もしあなたが左に行けば、私は右に行こう。もしあなたが右に行けば、私は左に行こう。」13:10 ロトが目を上げてヨルダンの低地全体を見渡すと、【主】がソドムとゴモラを滅ぼされる以前であったので、その地はツォアルのほうに至るまで、【主】の園のように、またエジプトの地のように、どこもよく潤っていた。

13:11 それで、ロトはそのヨルダンの低地全体を選び取り、その後、東のほうに移動した。こうして彼らは互いに別れた。13:12 アブラムはカナンの地に住んだが、ロトは低地の町々に住んで、ソドムの近くまで天幕を張った。13:13 ところが、ソドムの人々はよこしまな者で、【主】に対しては非常な罪人であった。13:14 ロトがアブラムと別れて後、【主】はアブラムに仰せられた。「さあ、目を上げて、あなたがいる所から北と南、東と西を見渡しなさい。

13:15 わたしは、あなたが見渡しているこの地全部を、永久にあなたとあなたの子孫とに与えよう。13:16 わたしは、あなたの子孫を地のちりのようにならせる。もし人が地のちりを数えることができれば、あなたの子孫をも数えることができよう。13:17 立って、その地を縦と横に歩き回りなさい。わたしがあなたに、その地を与えるのだから。」13:18 そこで、アブラムは天幕を移して、ヘbronにあるマムレの檜の木の下にきて住んだ。そして、そこに【主】のための祭壇を築いた。

アブラハムの生涯を学んでいます。

先週はネゲブへ行き、飢饉に遭い、エジプトへ下り、妻を妹と偽って生き延び、サラを側室に入れたパロの家に災いが下り、アブラハムの偽りがパロに発覚して、神のしもべとして全く証しにならないエジプト時代でした。

ハランを出る時は
信仰によって、行先を知らないで出て行きました。
た。

シェケムに着いた時、この地を与える、という御
声を聞いた時、そこで祭壇を築き、
少し南のベテルとアイの間で天幕を張り、祭壇
を築き、主の名によって祈りました。

ここまでは大変順調な信仰の旅でした。

アブラハムの信仰のテーマは

①人間的なことから離れること

②神様を信頼し、神様の示す道を歩むこと。

これがアブラハムの信仰の訓練。

また私たちの信仰の訓練であります。

アブラハムがネゲブにまで行きました。

そこで飢饉が起こりました。

エジプトに下って行きました。

せっかくベテルとアイの間の所、

カナン人が住んでいる、モレの櫨の木の下でカナ
ン人が偶像を拝んでいる。

山間の土地であまり肥沃ではない土地。

でも神様はこの土地を与える、ここが約束の土
地と言われました。

南の方、ネゲブの方面は肥沃な土地、
甥の口トの意見もあったのでしょうか。

肥沃な土地を捜しにネゲブへ、でもあったのは
肥沃な土地ではなく、飢饉でした。

神様の約束に従ってベテルの土地に留まるか、
人間的な判断で肥沃な南の方に行くか。
アブラハムはこのネゲブ行で、主に従わないで
自分の判断、人間的な考察で、価値観で行
動しています。

ネゲブで飢饉と遭遇しています。

アブラハムは祭壇を築くこともなく、
祈ることもなく、サラや、ロトと祈ることなく
エジプトに下っています。

なぜ振り出しのシェケムに、ベテルに戻らなかった
のでしょうか。エジプトは約束の地ではありません
ん。

せっかくウルから出て、ハランから出て、
約束の地に導かれているのに残念な行動で
す。

エジプト行きは危険な旅でした。

行けば飢饉で死ぬことはない。

しかし妻サラが美人であるから、

アブラハムは殺されてサラがパロ王の側室になる。

アブラハムは妻を妹と偽って生き延びようとした。

偽りの罪、妻に姦淫を犯させる罪。妻を見捨てる罪。

アブラハムは神様に従う信仰の原理で行動せず、人間的なセコイ、ずるい、安易な方向に走っています。

アブラハムの罪がばれてしまった。

アブラハムのウソの罪のゆえに

パロはアブラハムの妹と信じてサラを妻として迎え入れた。でも事實はアブラハムの妻、二重結婚になり、神様からの裁き、災いがパロの上に下ってしまった。調べるとサラはアブラハムの妻であることが分かった。

パロはアブラハムにのしをつけて
多くの所有物を持たせて
エジプトから追い出しました。
アブラハムの大失敗のエジプト下りでした。

アブラハムはもと来た道に戻りました。

エジプトを出て、ネゲブを通り

ベテルとアイの間の元の所に帰り

そこで久しぶりに祭壇を築いて

お祈りをしました。

どんなお祈りをしたのでしょうか。

人に頼らず、飢饉の時も、主に信頼します

と祈ったのでしょうか。

しばらくするとまた問題が起こりました。

13:5 アブラムといっしょに行ったロトもまた、羊の群れや牛の群れ、天幕を所有していた。13:6 その地は彼らがいっしょに住むのに十分ではなかった。彼らの持ち物が多すぎたので、彼らがいっしょに住むことができなかつたのである。13:7 そのうえ、アブラムの家畜の牧者たちとロトの家畜の牧者たちとの間に、争いが起こつた。またそのころ、その地にはカナン人とペリジ人が住んでいた。

今回は飢饉の問題ではなく
豊かさからくる問題でした。

持ち物が増えること、
牧草地在狭い、農耕地が狭い、
欠乏を乗り越える知恵の欠乏、
一緒に解決しようとする愛の欠乏。

アブラハムは第二の試練に直面しています。

アブラハムは祭壇を築いてお祈りをしています。
ネゲブで、エジプトで犯した失敗を繰り返すまい
と必死で祈っていたことでしょう。

13:8 そこで、アブラムはロトに言った。「どうか私とあなたとの間、また私の牧者たちとあなたの牧者たちとの間に、争いがないようにしてくれ。私たちは、親類同士なのだから。13:9 全地はあなたの前にあるではないか。私から別れてくれないか。もしあなたが左に行けば、私は右に行こう。もしあなたが右に行けば、私は左に行こう。」

第一番に、クリスチャン同士、
親類同士が争っているのは
近所に住んでいるカナン人、
ペリジ人の前で証しにならない。

私たちは神様に導かれ、
召されてこの地に来た。

エジプトと同じ失敗を繰り返さない信仰にアブラ
ハムは生きています。

第二番に、この問題は解決をしなければ、証し
にならない。

第三番に、自分の欲得、損得を基準にして行
動をしない。

不利な損な道であっても神様の栄光が現れる
ように、神様の御心に従う決意をしていました。
神様は必ず従うものに祝福を与えてくださるとい
う信仰に生きる決意をしていました。

13:9 全地はあなたの前にはないか。私から別れてくれないか。もしあなたが左に行けば、私は右に行こう。もしあなたが右に行けば、私は左に行こう。」

牧草地が狭い、牧草の欠乏を
ロトと別れる

ロトに選択権を与える
ことで平和的に解決をしようとした。

ロトは選択の優先権をいただいたので、

13:10 ロトが目を上げてヨルダンの低地全体を見渡すと、【主】がソドムとゴモラを滅ぼされる以前であったので、その地はツォアルのほうに至るまで、【主】の園のように、またエジプトの地のように、どこもよく潤っていた。

ロトは叔父のアブラハムを差し置いて
自分の判断で肥沃な所、条件のいいところを
捜して、祈ることもなく、神様の御心を求めるこ
ともなく、ヨルダンの低地を選び、そこへ移動して
行きました。

ロトの選択にも問題、リスクがありました。

ソドムの近くは肥沃な土地という利点。

ソドムの人によこしまで、暴虐が満ち非情な罪人。ロトの家族にも悪い影響を及ぼす。

金銭的に豊かな罪の生活を取るか

貧しくても信仰に豊かな生活を取るか、

人生の選択で何を最優先するか、

私たちはどのように選択しているでしょう。

ロトがさっさと肥沃なヨルダンの低地を選び取って別れて行った後、カナン人の住むやせた荒れた土地にとどまらなければ

ならないアブラハムはどんな気持ちであつたのでしょうか。

貧乏くじを引かされた、と失意にいたのでしょうか。

ロトがアブラムと別れて後、【主】はアブラムに仰せられた。「さあ、目を上げて、あなたがいる所から北と南、東と西を見渡しなさい。13:15 わたしは、あなたが見渡しているこの地全部を、永久にあなたとあなたの子孫とに与えよう。

目をあげなさい。

土地を見るだけでなく、土地が肥えているか、
痩せているか、を見るだけでなく
神様を見上げなさい、神様の御心を求めなさい。
い。

北と南、東と西を見渡しなさい。

与えられる土地を見なさい、観察しなさい。

この土地、土壌にふさわしい農業、牧畜を研究
しなさい。

13:17 立って、その地を縦と横に歩き回りなさい。わたしがあなたに、その地を与えるのだから。」

その土地を見るだけではなく
踏みしめなさい、歩きまわりなさい。

その土地と親しくなりなさい。

耕して、石を取り除け、雑草を取り除き、
種を蒔き、水を注いで、耕しなさい、という命令
を神様はアブラハムに与えています。

カナン人が住んでいても、
とちは山岳地帯で不毛であっても
縦と横に歩きなさい。その地を与える。

歩き回って、カナン人、ペリジ人との
競合の少ないヘブロンに到着して
そこに天幕を張り、祭壇を築いて
ヘブロンがアブラハムの町となっていきました。

エジプトでの教訓を大切に、
人間的な有利不利、損得、から離れ、
神様の御心に従って歩む、
神様からの訓練の道をアブラハムは学習してい
ます。

この新しい一週間も
世の良くに従うことなく、目を天に向けて歩みま
しょう。

マタイ6:33 だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。

祈り